



校報 水糸者

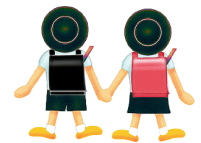
No. 835

29年度・第8号

家庭訪問、ありがとうございました

11日からの家庭訪問では、学校や家庭での子どもの様子についての情報交換ができ、今後の子どもの健全育成のために大変良い時間となりました。

今回の家庭訪問で、保護者の皆さんと今後とも共通理解を深めていく必要があると感じた内容が2つありました。



【その1】『食物アレルギー』への理解と対応

平成24年12月に東京都内の小学校で、給食を食べた後にアレルギー症状のため、子どもが亡くなるという痛ましい事故の発生は、まだ皆さんの記憶に残っている事でしょう。本校では、給食センターや保護者と連携を図りながら、安全・安心な給食のために全教職員で取り組んでいます。

医師に「食物アレルギー」と言われたお子さんで、まだ学校に知らせていないご家庭の方や、食後に「のどの違和感や目や体のかゆみ、顔の腫れ」などの症状が出るお子さんは、速やかに医師の診察を受け、その結果を学校にお知らせ願います。知り得た個人情報には外に漏れる事はありません。後日、アレルギーについての調査を再度実施する予定ですので、ご協力をお願いします。

なお、旅行に出かけた子がお土産に学級の児童にお菓子を配る事も、食物アレルギー防止のために、本校では遠慮させていただきますので、ご理解とご協力をお願いします。

【その2】『個に応じた指導』への理解と対応

その子に応じた学習環境と学習方法で、学習を進めていく事は当然のことで、本校が最も大切にしていることの1つです。

お子さんの事で、困っている事や悩んでいる事は、裏面を参考にすぐに担任へ相談してください。

…感謝・感謝・感謝…

先日、平内婦人会の方が来校し、たくさんの雑巾を寄贈してくれました。ありがとうございました。

祝・祝・祝・祝・祝 14日(金)は、209名全員登校日でした！ 祝・祝・祝・祝・祝
昨年度の全員登校日は15日間(出席停止と忌引きを除く)でしたので、今年は大幅に更新しそうな予感！

子どもがすこやかに育っていくために

～お子さんの事で、気になっている事 はありませんか？～

お子さんの事で下記のような事で困ったり、悩んだりする事はありませんか？
何度注意したり、教えても効果があがらない時や「あれっ」「おかしいな」「なぜだろう」と感じた時はそのままにしないで、学校にご相談ください。(各担任や山下裕子教諭が窓口です)
相談内容などは一切口外するものではありませんので、お気軽に安心してご相談ください。

聞く・話す

- ・聞き違いや聞き洩らしが多い
- ・言葉の意味が理解できていない
- ・やりとりがちぐはぐ
- ・自分の思いを伝えられない

読む・書く

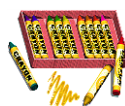
- ・行をとばして読む
- ・たどたどしく読む
- ・よく似た字を書き間違える
- ・漢字が覚えられない

生活する

- ・忘れ物が多い
- ・片づけができない
- ・準備ができない

- ・動きがぎこちない
- ・人と合わせる動きが難しい
- ・はさみやコンパスが苦手
- ・なわとびやボールなど物をうまく使えない

運動・動作する



計算する・推論する

- ・計算に時間がかかる
- ・計算ミスが多い
- ・位取りが混乱する
- ・図形や応用問題が苦手

行動する

- ・落ち着かない、立ち歩く
- ・途中で口をはさむ
- ・こだわりが強い
- ・気が散りやすい
- ・友だちとうまく遊べない
- ・すぐかっとなる
- ・場の雰囲気を読めない
- ・話の場面がよく変わる

その他

- ・特定の教科が極端に苦手
- ・気分や体調の訴えが多い

【相談後の本校の動き】

1. なぜ、そのような事が起こるのかを分析をします。(原因の分析・把握)
2. その子の特徴を把握し、その子が学びやすい方法や環境を見つけ出します。(個の理解と指導法の工夫)
3. お子さんの特徴と望ましい教育方法と環境について保護者さんにご相談します。

※ 保護者の皆さんにご理解していただきたい事とお願い

目が見えにくければ「めがね」をかけ、足が不自由であれば、「つえ」や「車いす」を使います。
そんな子ども達へは「しっかり見なさい。」「早く来なさい。」とは言いません。しかし、努力をしているのに混乱する子や何度も間違えてしまう子には「何度言ったらわかるの。」と、叱責の言葉をかけがちです。そのような事を放置しては解決しないばかりでなく、ますます悪化し子どもは「自分はダメな子だ。」などと自分を責め、自己肯定感が低下してくる事が多いものです。自己肯定感が低下してしまうと、健全な学校生活を送る事が困難となり、時には不登校や引きこもり、暴力、自傷行為、器物破損などの誘因となる事もあります。

本校では、その子の状況に応じた学習方法や指導内容を保護者の方とご相談しながら、どの子もわかる楽しい授業を提供し、1人でも多くの子ども達を笑顔にしようと、日々努力を重ねております。小学校の段階で、自分がどのようなパターンの学習や環境がふさわしいのかを気付き、理解しその方法を実践していく事は担任はもちろん、保護者も子ども自身にとっても大切な事です。その事は、進級や進学、就職する時にも役立っていく事です。

この時期の見逃しや対応の遅れは、結果的にお子さんの「自己肯定感」や「意欲」を削ぐ事になり、一度低下した自己肯定感を高めるにはかなりの日数と努力を費やす事となるのです。